# NIE実践報告

1．タイトル：☆NIE交換ノート

2．学校名

帝塚山学院泉ヶ丘高校(大阪府、私立)

3．実践者名（代表者名）

岡　憲司

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学年3クラスのホームルーム活動　89人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読んで、自分の意見を持とう。

7．目標（狙い）

政治・経済・外交・科学技術などの記事について、自分の意見を持つこと。クラスの友達の意見に関心を持つこと。時事問題について意見交換すること。

8．評価の視点

自分自身の関心に引き寄せて記事を選んでいるか。記事を通して関心を広げたり深めたりしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

9月から3月まで、気になる記事をスクラップして、要約と意見を書く。「NIE交換ノート」をつくり、担任など教員と時事問題を通して意見交換をする。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)生徒が「NIE交換ノート」で取り上げた記事が、科目「現代社会」の学習内容と関わるテーマを含む場合に、授業の中でも取り上げて、内容の理解を促進する。
(2)生徒が「NIE交換ノート」で取り上げた記事が、科目「国際理解」の学習内容と関わるテーマを含む場合に、授業の中でも取り上げて、内容の理解を促進する。
(3)ユネスコクラブで、商業捕鯨の是非をめぐるディベートを行う際に、生徒たちは新聞記事を調べ、賛否両論の理由付けとなる記事をさがしだす。
(4)生徒は「月刊・NEWSがわかる」を一年間購読し、そこから得た情報を「NIE交換ノート」に反映させる。
(5)「月刊・NEWSがわかる」をより深く読ませるために、科目「国際理解」のテストのなかで取り上げる。
(6)学校を準会場として、11月にニュース検定を実施する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

理系クラスでは、科学技術やスポーツに関わる記事を選ぶ生徒が多く、文系クラスでは政治・社会に関わる記事を選ぶ生徒が多い。クラスによる特徴が、よく出ていた。クラスにもよるが、ほぼ毎日欠かさず「NIE交換ノート」を仕上げてくる熱心なクラスもあった。

12．成果と課題

学校でクラスに新聞を届け、NIEの活動をするようになって、新聞に接する機会が皆格段に増えている。要約したり、意見を書いたりするためには、読み飛ばしていてはだめで、読み込む必要がある。人に説明できるように深く読もうとしている。家庭でも新聞を読む習慣が広がってきている。